

## 第 474 回 三水会便り <平成31年 4 月>

### ★会員話し合い会合

3月例会に先立ち、30人近い会員がルームに集まり会の運営について議論した。塩澤代表の辞意を受け、係がまとめた問題提起をベースに全員が意見を表明。今後、出席出来なかった会員の意見を集め、次回の例会で“再建案”を提示することを確認した。20日の議論では、40年を超える歴史ある同好会であることを念頭に存続するも、改善策を果敢に実施していく。具体的には「代表、事務局」による運営ではなく集団による運営をしていく。例会の開催時間を繰り上げる。開催は毎月ではなくともいい一などの意見が出された。ご意見のある人は4月10日までに係り/川俣・高橋まで。 係：川俣俊一、高橋重之

### ★三水会例会

☆第 659 回例会

日 時：3月20日(水) 18:00~20:00

場 所：山岳会会議室

出席者：塩原匡貴(演者)、石井由紀、石原康生、大野力弥、掛江正道、勝田房治、川島新太郎、川俣俊一、北口マリ子、小泉義彦、塩澤厚、下野武志、征矢三樹、高芝一民、高橋郁子、高橋重之、高橋満男、高橋隆一、武田幸男、田中恵美子、豊田茂、長岡正利、長谷川公子、平野幹雄、古市進、増田達治、村山裕嗣、望月公子、山口延子、吉田正隆以上30名

今回は、国立極地研究所の塩原匡貴氏の「北極と地球温暖化」の話だった。北極圏スバル諸島スピッツベルゲン島のニーオルソン(オスロからジェット機で4時間、更に14人乗り小型機で30分)にある国際観測基地(炭鉱会社キングスベイス社がスポンサー)の日本の極地研究所の観測所(10ヶ国のがある)での観測結果、IPCCのデータ等から地球の温暖化現象について、1)北半球に人が多く住んでいるので、そこで発生するCO<sub>2</sub>等は北極圏に集まるため、南極より北極の温暖化が大きい。2)北極海の海水が減ると、太陽光の反射を減らし更に海水温を高める。3)グリーンランドの氷床の融解スピードが速まっている。4)CO<sub>2</sub>を主とする温暖化ガスと噴火の粉塵等を主とするエアロゾル(寒冷化に働く)とのバランスで気温が保たれる。今は前者>後者の状態である。5)最悪の予想では、21世紀末には気温で4℃、海水が1m上昇する

とIPCCは警告している。

係：塩澤 厚

☆第 660 回例会は、4月17日(水)、JAC千葉支部会員の松田裕也氏から、1982年、市川山岳会のミニヤコンカ遠征時、重度の凍傷を負いながら奇跡的に生還された時のお話「生きて還って、また登る」を伺います。多数のご参加をお願い致します。なお、今回は講師からの要望もあり、JACのユース・クラブの皆さんにも連絡をして頂いております。

係：塩澤 厚

### ★三水会山行

☆3月山行報告 3月28日(木)、上野原北部の能岳(542m)と、八重山を歩きました。登山道に入ってすぐ、イカリソウ、シュンラン、カタクリがたくさん咲いていました。登行差250m登り、なだらかな尾根からは、周囲の山がよく見えました。展望台で

の昼食後、いろいろな種類のサクラを見ながら下山しました。20号沿いの和菓子店に寄り、上野村駅まで歩きました。花も団子もおしゃべりも楽しみ、よい足ならしになりました。約6時間。参加者13名（本掲示板に報告あります）。 係：高橋あかね